

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

神様のいたずら

月曜日晴れ 火曜日晴れ
水曜日晴れ 木曜日晴れ
金曜日晴れ なのに
土曜日と日曜日は傘マーク。
でも、心配いりません！
これはきっと、神様のいたずら。
やきもきさせて喜ばせる。
これが神様の法則ですから。



毎朝校舎に響き渡る子どもたちの運動会の歌声は、きっとお空のお日さまに届いているに違いありません。

ポッコン!

桃太郎と金太郎と浦島太郎が出てきて、手のひらで何かを割るような動作をして「ポッコン!」と言って、三人で大笑いしているコマーシャル、ご存知ですか。これ、只今私のお気に入り。

初めは、何のコマーシャルか分からなかったのですが、とにかく「ポッコン」といって三人が笑い出すと、意味も分からず私も一緒になって笑っていました。どうやら、「笑い」は人に感染するようです。



4月から本校に赴任してきた教頭先生は、よく笑います。笑っていなくても笑っているような人を和ませる顔の持ち主です。

ですから、教頭先生がいると、その周りの人たちはよく笑っています。私も、家でコマーシャルの「ポッコン!」を見て笑って、学校では教頭先生の笑顔を見て、最近よく笑っています。

笑っていると
大変なことが小さくなっていきます。
笑っていると
心配なことがどこかへ行ってしまいます。
日曜日のお天気が気になりますが
とりあえず笑っておくことにします。

藤井君の週末作文

5年2組の学級通信が目にとまりました。週末作文のテーマは、「タイムマシンに乗るなら過去?未来?」でした。

「ぼくが行きたいのは10年後の未来です。そのわけは、自分自身や家族、友達の将来の姿を見たいからです。

10年後、ぼくは20歳になっています。おそらくぼくは大学生になっていて、毎日一生懸命勉強しているでしょう。友達も自分の夢に向かって勉強や仕事をがんばっていると思います。

タイムマシンで行く未来の世界で、ぼくや友達の姿を見たなら、勇気が湧いてくるに違いありません。現在にもどったら、今以上に、一生懸命勉強をがんばる力になります。

また、年をとったお父さんやお母さんの姿を見たら、きっと親孝行をしようと思うことでしょう。」

私だったら過去に行って、恥ずかしい自分の姿を消していきたいと思うところですが、藤井君は違います。

10年後の頑張っているぼくのために
今を頑張る。

10年後の年老いた両親のために
今、目の前にいる両親を大切にしたい。

今の生き方が未来の自分を作ります。素敵な未来の自分の姿を描くことは、今をいかに生きるかということを教えてくれるのですね。

そんなことを、藤井君の作文が教えてくれました。

